

敦賀発電所1号機 廃棄物処理建屋1階での過電流による短絡事象について

平成23年12月12日19時45分ごろ、第33回定期検査中の敦賀発電所1号機の廃棄物処理建屋1階の電気室（管理区域）において、電源系改造工事に伴い、同建屋の照明用電源を停止するため、予備のMCCユニット※に切り替え、運転員が当該MCCユニットの電源を入れたところ、電源が切れ、同ユニットから出火したことを確認しました。

また、同時刻に火災報知器が発報し、運転員が消火器を使用して初期消火を行い、発電長より消防署へ通報しました。

なお、20時14分に到着した公設消防による現場の確認が実施されました。本事象による周辺環境への放射能の影響はなく、負傷者は発生していません。

その後、20時52分に公設消防により、本事象は火災ではなく過電流による短絡事象であると判断されました。

今後、本事象に至った原因について調査します。

※：MCC（モーターコントロールセンター）ユニット
発電所内の照明や運転機器等に電源を供給する電源装置

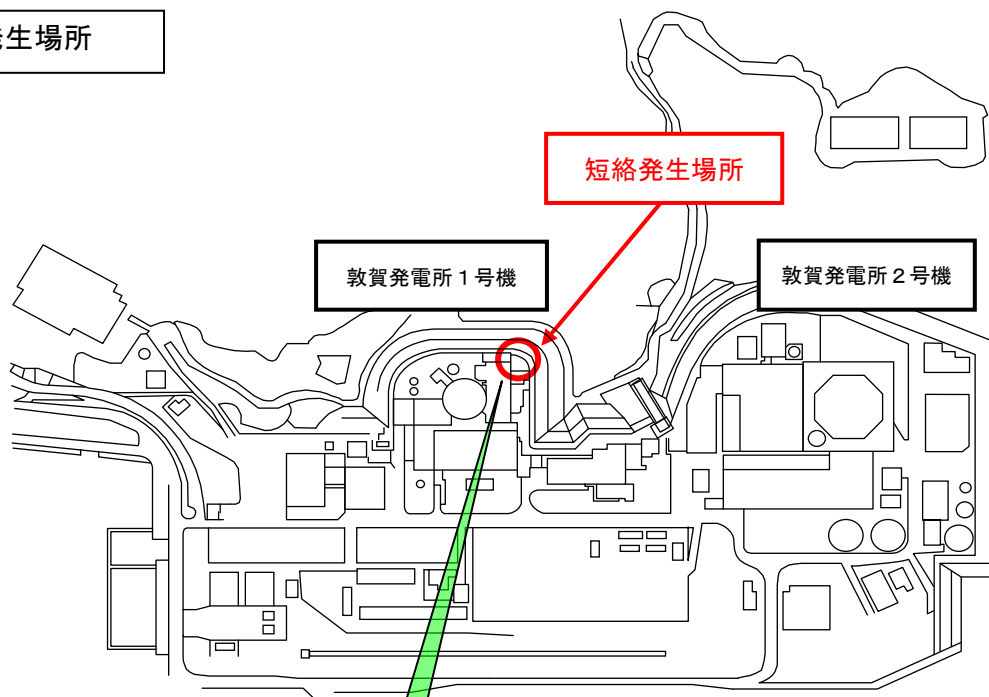
<添付資料>

敦賀発電所1号機廃棄物処理建屋 過電流による短絡事象状況図

以 上

敦賀発電所 1号機廃棄物処理建屋 過電流による短絡事象状況図

1. 発生場所



2. 発生状況

